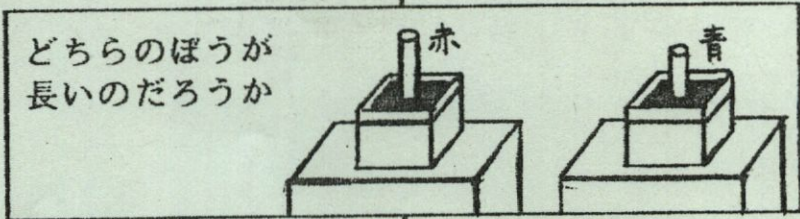
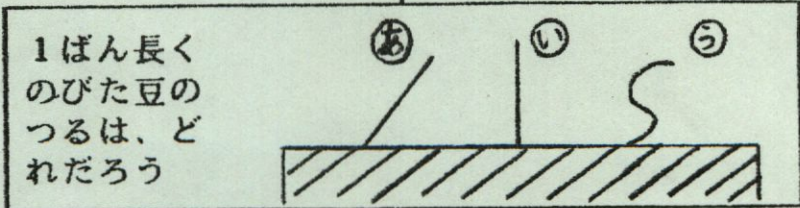


6. 本時の学習

(1) 本時の目標

- 直接、重ねることのできるものの長さを比べるには、比べようとするものの一方をそろえ、他方の端の大小で判定するとよいことがわかる。
- 曲がったものは、直線状に伸ばして比べるとよいことがわかる。

(2) 本時の展開

	教師の働きかけ	児童の活動
とらえる	<ul style="list-style-type: none"> ○ まほうの棒を見せ、興味・関心を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ なんだろう。 ・ おもしろそうだ。
	<p>どちらのぼうが長いのだろうか</p> 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理由を発表させる。 ○ 棒を抜いて、両手に掲げて見せる。 ○ 児童数人に長さを比べさせる。 ○ 長さ比べの方法を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出ているところが長いから赤だ。 ・ 中が見えないからわからない。 ・ 抜いてみなければ、わからない。 ・ それじゃ、はっきりとわからないよ。 ・ 下に置いてみてよ。 ・ くっつけてみて。 ・ やっぱり、青い棒が長いや。
	<p>そろえる 合わせると比べやすい</p>	
あらわす	<ul style="list-style-type: none"> ○ 親しみやすいお話を提示し、意欲づけを図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 楽しそうだ。はやくやってみたい ・ ジャックを助けてあげよう。
	<p>1ばん長くのびた豆のつるは、どれだろう</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・ (a) は、ななめになっているが長そうだ。

あらわす

○ジャックの絵を登場させ、各々の言い分をテープの声で聞かせる。

- ・㊦ …登りやすいから。
- ・㊧ …1番高いから。
- ・㊨ …低いけれど、くねくねしているから。

○モールを貼りつけた紙を児童に与え、個々に確かめさせる。

○発表させる。

ふかめる

まがったものは、のぼすとくらべることができる

○身の周りにあるもので、長さ比べをしたいものを発表させる。

○個々にさせたり、友だちとさせたりして、自由に比べさせる。

○長さ比べをした感想を発表させる。

○次の時間は、動かすことのできない豆のつるの長さ比べをして、ジャックを助けてあげよう。

- ・㊧ は、まっすぐなので長そうだ
- ・㊨ は、曲がっているが長そうだ

- ・やっぱり、わたしの考えでよかった。
- ・あのジャックのわけは、おかしいよ。
- ・わたしの考えは、違っていたのかな。
- ・はやく確かめたいな。

- ・㊦ とい を下を } 2本ずつ
- ・㊧ を伸ばしてから } 比べる。
- ・㊨ を伸ばしてから、下をそろえて3本いっしょに比べる。

- ・自分の方法を、黒板の前で実際に操作しながら説明する。
- ・㊨ が1番長い。

- ・いくつかのものを比べ、長いものを見つける。
なわとび、テープ、クレヨン、えんぴつ、etc.

- ・わたしのえんぴつの中で、これが1番長い。
- ・友だちのなわとびの方が長い。

- ・とてもおもしろかった。
- ・長さ比べのしかたがわかった。
- ・もっと、いろいろなものを比べてみたいな。
- ・紙のたてと横を比べてみたいな。
- ・この次も、ジャックを助けてあげたいな。